

たかはし 誠一郎

せいいちろう

岡山市議会議員【中区】

プロフィール

- 1982年9月24日生まれ（43歳）
- 中区湊在住●妻・子ども3人（旭操学区）

学歴

私立西大和学園高等学校 卒業
岡山大学法学部 卒業
神戸学院大学法科大学院 修了

職歴

旅行代理店（タイ・シンガポール駐在）
岡山市で結婚後、不動産会社勤務
損害保険会社勤務
保険代理店として独立

資格

法務博士
ファイナンシャルプランナー2級

市政報告 第1号

岡山市を 前へ!

このたび、岡山市民の皆さまのご信任を賜り、岡山市議会議員として市政に携わる機会をお預かりいたしました。

その責任の重さに身の引き締まる思いであり、市民一人ひとりの声に真摯に向き合い、誠実に職責を果たす決意を新たにしております。

私は、これまで地域の中で生活し、子育てや仕事を通じて、市民の皆さまが日々直面している「小さく見えて、しかし命や暮らしに直結する課題」を数多く見てまいりました。

政治は理念だけでなく、現場で起きている現実を確実に改善することが何より重要であると考えております。私は、現場に足を運び、声を聞き、数字と制度を照らし合わせながら、実現可能な改善策を一つずつ積み重ねる市政を目指します。

市民の皆さまから託された一票一票の重みを胸に刻み、岡山市が「住んでいてよかった」「これからも住み続けたい」と思えるまちであり続けるよう、全力で取り組んでまいります。

高橋 誠一郎

今議会のトピック(2025年11月議会)

【質問】ワクワクする岡山市の実現には、市と県が連携し意思疎通を図ることが不可欠である。しかし現状、市長と県知事が協議を行っていない状況が続いている。この状況をどう打破するのか。

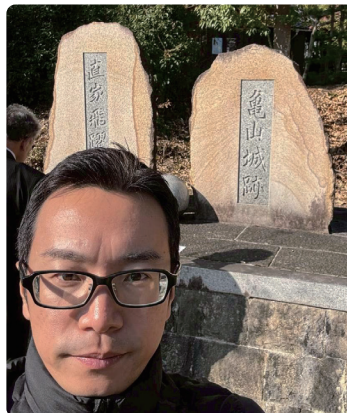
【回答】市と県が一体となり岡山を良くすべきである。市が会談を拒否した事実はなく、文書や電話等で複数回申し入れてきたが実現していない。知事には公人として対話に応じてほしいと考える。

【質問】本市の自殺死亡率は目標を達成できておらず、特に若年層対策の遅れが懸念される。スクールカウンセラーへの相談件数が高水準で推移する一方、心の不調に気づかせる教育的取り組みは十分とは言えない。子どもの命を守るため今後どのように取り組むのか。

【回答】スクールカウンセラーへの相談件数が多いのは、支援につながる環境が整っている表れ。一方教職員の気づく力向上を重視し、研修や専門家連携で支援体制を強化している。学習用端末を活用した心の健康観察でSOSを早期発見し、命を守る取り組みを進める。

※2025年11月議会における他議員の質問から抜粋しました。

これまでの地域・議会活動



◀歴史・文化をいかしたまちづくり調査
特別委員会 東区現地調査



▲スポーツ文化・産業委員会 静岡視察

2025年11月市議会一般質問

市議会議員となり、初の一般質問に立ちました。今回は3つの項目について質問しました。



用水路への転落防止策について

質問 令和6年6月の定例会で、危険箇所約2500か所を抽出し、優先度や地域に応じた整備をしてきたことが説明されたが、この1年間でされた新たな対策は。また中区は4区の中で宅地の占める割合が1番高く、子供や高齢者の転落リスクが高い。中区での危険箇所数と今後の対策予定は。

回答 用水路転落防止対策は市内で108件実施。転落防止柵については約4.5km設置、転落防止柵の設置が困難な箇所については視線誘導標、道路鋸などを設置。蓄光式の道路鋸については、市内3箇所に設置している。また中区内の危険箇所は、3小学校区で41か箇所。令和7年11月までに12か所について転落防止柵などのハード対策を完了。残りの箇所も令和8年度中に対策を完了する予定。

校務DX化について

質問 本市はGIGA端末の活用や欠席連絡のオンライン化は全国的に高い水準にある一方、保護者連絡のデジタル化は遅れている。校務DX計画について、現時点での達成状況はどう認識しているか。また、DX推進の指標となる教員の業務時間や雑務・事務作業時間をどのように把握していくのか。

回答 会議・研修のペーパーレス化や学校HP管理の全校統一など校務DX化は着実に進んでいる。保護者連絡では欠席連絡の省力化は実現したが、アンケートや配布物のデジタル発信は十分でない。今後も利便性向上につながる取り組みを進める。教員の業務時間は働き方改革のため定量的把握が必要であり、現場負担とならない方法を検討する。

質問 給食費の公会計化により現金管理の負担は軽減されたが、未納件数は令和5年度143件から令和6年度1174件に増加しており、従来教員が多大な労力を徴収に費やしていたことがわかる。教材費や修学旅行費、卒業アルバム代など学校徴収金について、今後どのように標準化や負担軽減を図っていくのか。

回答 学校事務の負担軽減と保護者の利便性向上のため、給食費以外の学校徴収金にもDX化が必要である。一律化は難しいが、今年度から学童校外事故共済をキャッシュレス化しており、今後も業務標準化や共通基盤整備を検討する。

防災対策・防災協定について

質問 小中学校の体育館は主要な避難所である。中学校は令和9年夏前までにエアコン共用開始予定だが、他学校のエアコン設置完了までの代替の暑さ対策はあるか。

回答 備蓄しているスポットクーラーや、空調のある特別教室の活用を想定している。状況によっては物資供給の協定を締結している事業者から追加の空調機器の調達も行う。

質問 災害時には行政独力のみならず、物資提供、輸送施設、人材派遣など民間企業との協力が不可欠である。現在締結している防災協定の総数と内容は。また直近3年間で新たに締結された協定件数は。

回答 本市締結の協定は305件で、直近の3年間では33件の協定を締結している。内容は避難施設となる場所の提供や建設機械等の応援出動、仮設トイレなど防災に関する資機材のレンタル、スーパーやコンビニからの生活物資の供給など。また本市では物資輸送に係る協定は2社と締結している。支援物資の集積には岡山ドームの利用などを想定しているが、集積・輸送についてご協力いただける事業者がいたら協定の締結を進めてまいりたい。

市議補選(中区)で当選しました!

10,687名の方々にご支持いただきました。岡山市・中区の代表として頑張ってまいります。よろしくお願いいたします。



議会質問をもっと見る▶



たかはし 誠一郎 岡山市議会議員



ご意見やご要望など、お気軽にご連絡ください!

メール takahashi.seiichiro.okayama@gmail.com

H P <https://www.takahashi-seiichiro.jp/>